

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
東京未来大学福祉保育専門学校	平成26年10月1日	菅井 健治	〒120-0005 東京都足立区綾瀬二丁目30番6号 (電話) 03-5629-3780
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は学校教育法に基づき、保育・社会福祉分野において活躍する人材を育成する為、必要とされる知識と技能を教授することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
保育科	2年	73人	146人
介護福祉科	2年	60人	120人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は31単位に当該学科の就業年限相当数を乗じた単位数以上とする。	
保育科	学園の教育理念に基づき、3年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場に必要な専門知識・技術を修得し、さらに専門性を高めて実践力と自身の強みを向上させ、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 (1) 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術、こどもに関する教養やスキルを習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる (2) 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践や社会の発展を求めて成長し続けることができる (3) 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる
介護福祉科	・生活歴や価値観が異なる相手の立場に立って共感でき、円滑なコミュニケーション力を持ち合わせた思いやりのある介護福祉士 ・‘生活’の連続性を捉え、科学的な分析を以て、尊厳のある暮らしと自立を支えることができる介護福祉士 ・多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解し、リーダーシップをとることができる介護福祉士 ・人権擁護の視点、職業倫理を身に付けた介護福祉士

<取得可能な資格について>

取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-fukushi/jobdata/skill.shtml
---------	---

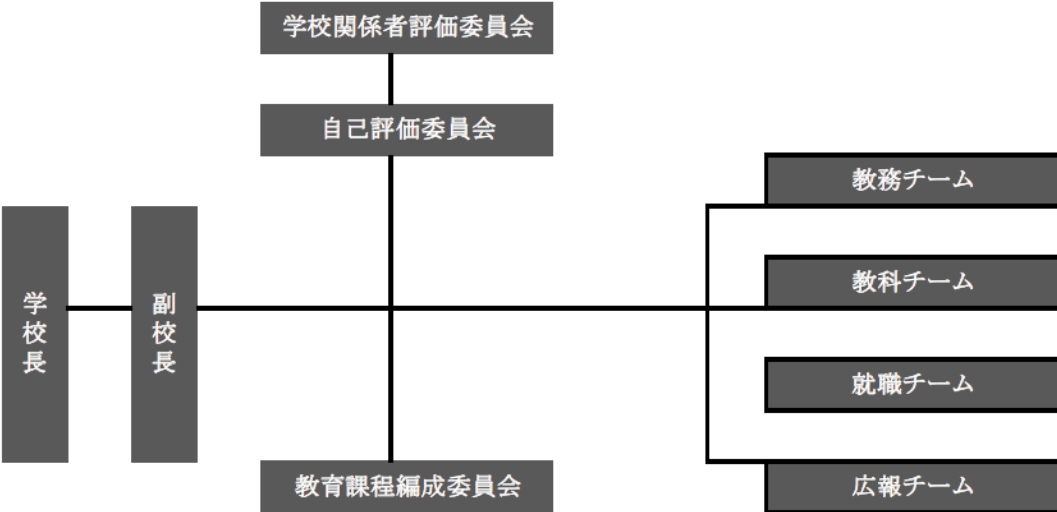
<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-fukushi/jobdata/support.shtml
------	---

③教職員

専任教員	13人
兼任教員	39人
事務職員	3人

教職員の組織



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
大槻 美保子	介護福祉分野	介護福祉士/介護支援専門員/社会福祉主事/介護教員 通所リハビリテーション 介護職（4年） 有料老人ホーム 介護職兼生活相談員（2年） 特別養護老人ホーム 介護職兼介護支援専門員（2年）
佐藤 修	介護福祉分野 社会福祉分野	介護福祉士/社会福祉士/介護支援専門員/介護教員 特別養護老人ホーム 介護職（3年） デイサービス生活相談員 介護職（2年） 定期巡回随時対応型訪問介護看護 訪問介護員（3年）
幸田 映里	介護福祉分野	高等学校教諭一種免許（公民）/介護福祉士 有料介護老人ホーム 介護職（15年）
塩田 美樹	介護福祉分野	看護師/内視鏡技師 大学病院等 看護師（21年）
徳永 恵	保育分野	幼稚園教諭二種免許/保育士 幼稚園 教員（9年）
佐々木 璃子	保育分野	幼稚園教諭二種免許/保育士 保育園 保育士（6年）
河崎 佳子	保育分野	幼稚園教諭専修免許/小学校教諭専修免許/保育士 小学校 非常勤講師（1年）幼稚園 支援員（1年）こども園 障害児保育一般補助員（1年）

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-fukushi/course/
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。 <保育科 保育実習> 34時間以上の保育体験を1年次に行う。保育士としての仕事や施設での仕事についての理解を深め、学校で学んだ知識や技術のアウトプットを行い、技能習得を目指すことを目的とする。学生は実習前に実習先とのオリエンテーションを実施し、事前に実習について打ち合わせを行う。実習中は担当教員が巡回指導し、適宜、課題発見や指導、メンタル面のケア等を行う。終了後には実習先の評価に基づき振り返りを実施し、フィードバックを行う。 <介護福祉科 介護実習> 2年間で計5回450時間の実習を行う。介護福祉士として、施設や在宅での介護について理解を深め、最先端の現場に出かけて、学校で学んだことや身に付けた技術を実践し、自分自身の力量を試し、振り返り、また新たな学習課題を掴むことを通して学びを深めていくことを目的とする。学生は実習に行くまでに事前学習を行い、また、実習先への事前訪問で学習目標、課題を明確化し、達成を目指す。教員は、実習中、巡回指導で実習記録の書き方や実践方法について直接的に指導を行う。実習後には学校にて振り返りと評価を行い、次の実習や現場に出るときに糧になるよう、フィードバックを行う。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-fukushi/schoolguide/childcare-welfare.shtml#point-7
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/pdf/tokyo-fukushi/guideline_2023/guideline_01.
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-fukushi/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---